

D1 Trend Method Basic Style Text (I)

第 1 章 D1 Trend Method Basic Style とは？

第1章 D1 Trend Method Basic Style とは？

i) 手法の特徴①

この手法の特徴は、FX 初心者にも理解しやすいトレンドとインジケータを組み合わせたトレードテクニックです。具体的にポイントを上げるとすれば、

- ① **トレンドの押し目反転を狙う**
- ② **損切り必須・損小利大の戦略**
- ③ **インジケータで判断**
- ④ **基本、スウィングトレード**

の4つを上げることが出来ます。なので、この手法は今あげた4つのポイントをベースにして組み上げて開発した手法とも言えます。その上、手法を使用する立場に立って【**わかりやすさ**】も重視して開発していますので、FX 初心者の方でも難なく理解して使うことが出来るようにまとめ上げた手法になっています。

しかし、手法に出てくる知識やテクニックの一つ一つは難しくない内容にですが、覚えるべき知識やテクニックは少なくないので、簡単という言葉適切ではないかもしれません。

とは言え、このテキストを読み込んで、実践練習をすれば、必ず習得できるもの仕上がっていますので、ここで悲観せずにテキストを読み進めてください。

しかし、全くのFX 初心者の方には、チンプンカンプンなテキストになっているかもしれませんので、そのような場合も想定して、【**テキスト授業動画**】、【**FX 実戦動画**】、【**質問メール**】などのサービスをご用意していますので、分からない場合は、それらも利用して理解を深めてください。

では、次のページより、左記に示した4つのポイントを一つずつ解説していきます。

第1章 D1 Trend Method Basic Style とは？

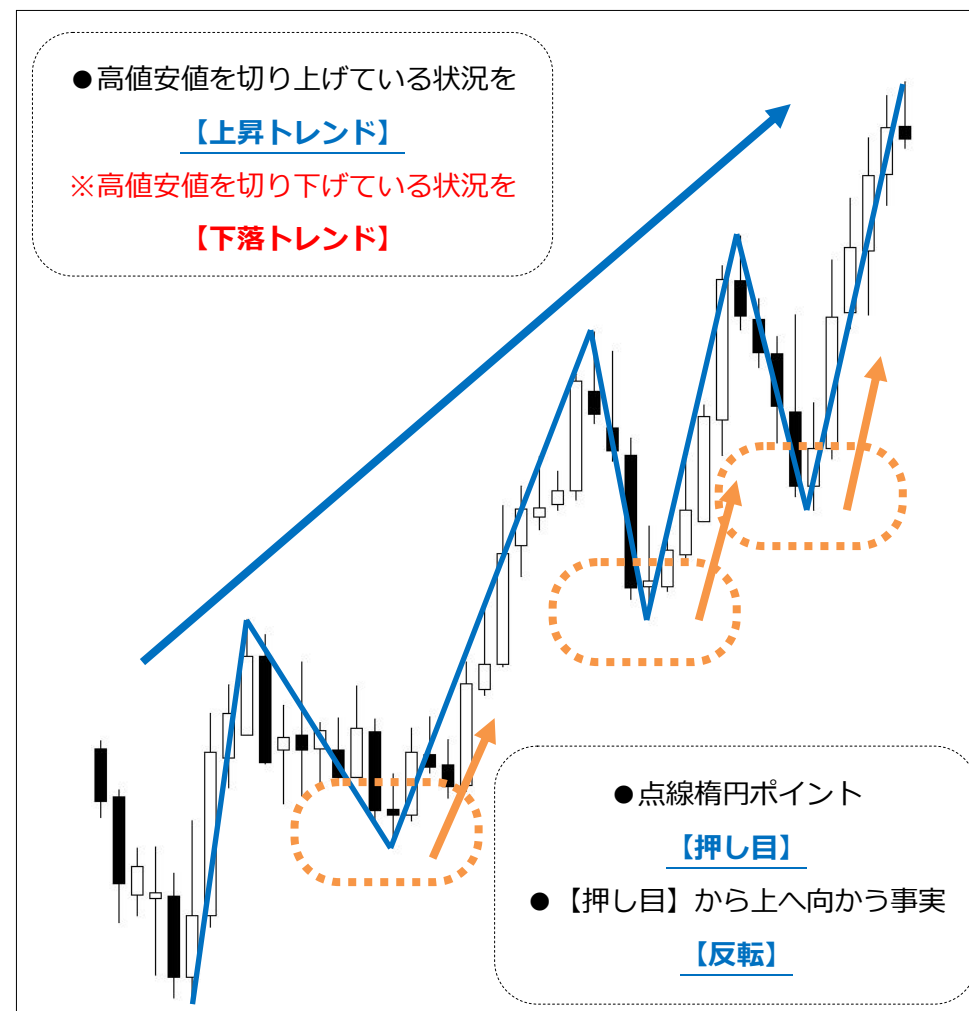
i) 手法の特徴②

①トレンドの押し目反転を狙う

このポイントは、この手法における起点です。具体的なトレード開始ポイントになります。イメージとしては、右図のようなチャート状況となります。その上で、

- 右図のようなチャート状況を【(上昇)トレンド】
- 点線楕円で囲ったポイントを【押し目】
- 上に向かっている事実を【反転】

となります。このポイントは、この手法を使って行う作業の第一目標です。



第1章 D1 Trend Method Basic Style とは？

i) 手法の特徴③

②損切り必須・損小利大の戦略

このポイントは、この手法における戦略事項であり、この手法を使って利益を残すための重要なポイントです。

○損切り必須

これは、毎回のトレードに関して、損切りラインを必ず設定するということです。そうすることで、ずっとトレードをしていけば必ず損切りされることがあります。それは、自分の資産（お金）が減ることを意味しますが、損切りラインを必ず設定することを遵守してください。

このポイントは、FXトレードをこの手法を使って長く続けるために必要なものとなるので、必ず実行してください。

○損小利大の戦略

これは、左記に記載した損切り必須にもかかわることですが、この手法では、**【損切りラインまでの幅】**と**【利益確定ラインまでの幅】**のバランスが、**【1対1以上】**のポイントでのみトレード可能としていますので、2回トレードを行って、1勝1敗となったとしても、プラス（利益）が出ます。

その上、この手法は、平均勝率が60%を超えるように理論を組み立てて手法を作っていますので、例え、数度損切りされても、トレード回数をこなしていけば、プラス（利益）が出るようになっています。

なので、この手法では、損切りされること（マイナスを貰うこと）を前提としていますが、損小利大の戦略を組み込むことで相対的に利益を残すようになっています。

第1章 D1 Trend Method Basic Style とは？

i) 手法の特徴④

③インジケータ判断

このポイントは、この手法における技術的ポイントです。この手法では、インジケータを使用して、様々な判断を行います。使用するインジケータは以下の3種類となります。

- **EMA (指数平滑移動平均線)**
- **BB (ボリンジャーバンド)**
- **MA (移動平均線)**

※MA (移動平均線) に関しては、ボリンジャーバンドと一緒に表示されるので、特に気にしなくても大丈夫です。

これら3種類のインジケータをチャート上に組み合わせて使用し、チャート状況と照らし合わせて判断していきます。

インジケータを使う理由としては、大多数の人にとって理解しやすい判断材料だからです。

④基本、スウィングトレード

このポイントは、この手法における基本スタイルです。

そもそも、この手法は、FX初心者やFX初級者向けの手法になり、ユーザー様の生活環境状況により毎日チャートを見ることが出来なくても出来る手法として理論を組み立て開発しているので、基本判断を長い時間チャートで行うこととなります。

なので、自然とトレードの開始から終了までの時間間隔は【スウィングトレード】になっています。しかし、手法を理解すれば、【デイトレード】も可能になりますので、【スウィングトレード】で結果が出てくれば、【デイトレード】にも挑戦してもいいと思います。しかし、まずは【スウィングトレード】からをオススメします。

第1章 D1 Trend Method Basic Style とは？

ii) 手法で使用するテンプレートツール①

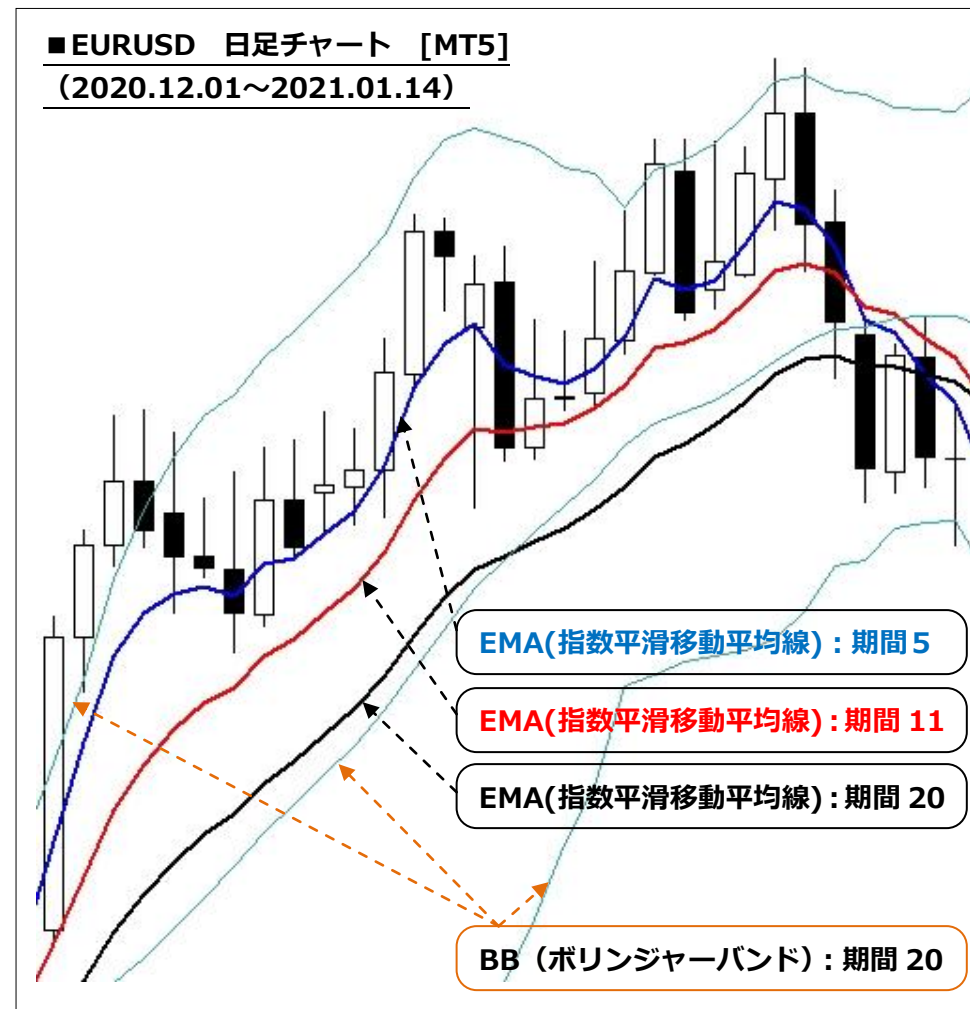
【テンプレートツール①】

日足チャートに2種類（4つ）のインジケータを表示させたテンプレート

« 使用ツール »

- 日足チャート
- BB（ボリンジャーバンド）：期間 20
- EMA（指数平滑移動平均線）：期間 5
- EMA（指数平滑移動平均線）：期間 11
- EMA（指数平滑移動平均線）：期間 20

の以上5種類を同時に表示させたテンプレートです。



第1章 D1 Trend Method Basic Style とは？

ii) 手法で使用するテンプレートツール②

【テンプレートツール②】

日足チャート以外の時間チャートに2種類（2つ）のインジケータを表示させたテンプレート

« 使用ツール »

- 日足チャート以外の時間チャート
- BB（ボリンジャーバンド）：期間 20
- EMA（指数平滑移動平均線）：期間 5

の以上3種類を同時に表示させたテンプレートです。

右のチャートは、MT5でのEURUSD：2020年12月1日～2020年12月10日の6時間足チャートをベースにインジケータを表示させたテンプレートです。

